

# 新たな協力アプローチ：日カンボジア地雷イニシアティブ

日本とカンボジアは、長年にわたる地雷対策分野における協力の実績を基盤として、今後、以下4つの柱の協力を強化していく。

## 1 地雷の非人道性の認知向上・地雷削減に向けた国際的な機運醸成

一般市民に無差別な被害を与える対人地雷の廃絶を目指し、オタワ条約第5回検討会議(本年11月)の議長であるカンボジアとも連携して国際的な機運醸成・意識啓発に取り組む(日本は来年の同条約第22回締約国会議議長国)。

## 2 カンボジア関係機関に地雷なき世界のための国際協力チームを創設

第三国支援のためのノウハウを習得した職員により、新たなチームを立ち上げる。日本は、カンボジア側関係機関において地雷なき世界のための国際協力チームに加わる人材を増やしていくべく、能力強化支援を行う。さらに、カンボジアと他国の地雷対策組織との連携強化を図る。

例)国際組織としての体制整備(地雷対策センター組織強化プロジェクト)  
ASEAN域内協力、対アフリカ支援の拡大

## 3 日カンボジア連携による第三国での地雷対策支援

両国は、民間企業やアカデミアの知見や技術も活用し、WPSの観点も踏まえながら、カンボジアを第三国支援のハブとして、第三国での地雷対策の支援を共同で実施する。

例)対ウクライナ支援では、日本は、東北大学が開発した地雷探知機ALISの導入研修を、JICAとCMACとの共同で実施した。

## 4 最新技術を用いた機材開発

日カンボジアが協力して、民間企業とも連携しながら、更なる効率的な地雷対策のため、AIなどの最新技術を活用した機材開発を進める。

例)AIを活用した地雷埋設位置予測システムの実証実験(民間企業との連携事業)



ウクライナ地雷対策要員への研修



コロンビア地雷対策要員への研修